

大学IR 入門一意思決定を支援する実践

中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 教授)

講師略歴

専門は高等教育論および人材育成論。1998年に名古屋大学高等教育研究センター助手、同准教授などを経て2015年より現職。学長特別補佐、教育・学生支援機構副機構長、教育企画室長、教職員能力開発拠点代表者を担当。愛媛大学の教育の質向上に向けたFD、SD、IRを始めとした諸活動の企画、実施、評価に加え、教職員能力開発拠点の活動として他機関における研修や組織開発支援を行う。大学教育、大学教員、大学の管理運営、看護教育などのテーマの書籍多数。

プログラム概要

IRは、大学の意思決定を支援するための活動であり、多くの大学で実施されています。大学教育の質保証、管理運営の高度化、外部への説明責任などを担うものとしてIRに期待が寄せられています。一方で、IRを担当する組織は設置したものの、学内の意思決定などに十分に役立っていないという大学も少なくないようです。また、IRは、大学の運営にかかわる重要な情報を扱うため、外部に活動内容を公開しにくいという側面があります。そのため、各大学がIRとしてどのような活動をしているのかを大学を越えて十分に共有されにくいという課題があります。

このプログラムでは、大学においてIRをどのように実践することができるかについての論点やさまざまな実践の選択肢を紹介することで、参加者が所属大学に適したIRの方法や改善の指針を考えるきっかけを提供します。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

・大学のIRに従事する教職員、大学のIRの提供する情報を活用する教職員

到達目標

1. 大学のIRとその意義を説明することができる。
2. 大学の意思決定に活用されるIRの実践の方法を説明することができる。
3. IRの実践の質を高める基本的な問いを提示することができる。
4. 所属組織のIRの課題を解決する方法を提案することができる。